

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の 利用目的及び 利用方法	研究の名称 骨転移診断における物質密度画像の有用性に関する後ろ向き 観察研究
	研究の対象 2021年6月～2021年12月の期間に当院にて通常診療により骨転移の検索目的に dual energy CT で CT 検査を受けた 20歳以上の方
	研究の目的 骨転移は癌の転移の中で比較的頻度が高く、発生部位によって様々な症状をきたすため、重要な病変です。骨転移検索には CT が広く用いられていますが、CT では診断困難な骨転移が存在することが知られています（骨梁間型あるいは骨髄転移）。このタイプは骨シンチグラフィでも診断が困難であり、MRI や FDG-PET が診断に有用であると報告されています。MRI や FDG-PET は検査時間が長いことやコストが高いといった理由で癌患者全員に行うことはできません。近年発達し、臨床に普及しつつある dual energy CT では物質弁別画像を作成することができ、骨転移の検出に有用との報告がありますが、多数の症例を対象とした検討は現在のところなされていません。本研究では dual energy CT から作成した物質弁別画像（水/ハイドロキシアパタイト画像）を従来の画像に追加することで、骨転移の検出能が向上するかを検討することを目的としています。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 2024 年 3 月まで</p>
	<p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、CT 画像、カルテ番号 等</p>
<p>利用する者の 範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 放射線診断学講座 市川新太郎</p>
<p>試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 放射線診断学講座 市川新太郎</p>
<p>試料・情報の利用又は他の 研究機関への提供の停止(受 付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手 または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 放射線診断学講座 担当者： 市川新太郎 TEL： 053-435-2242 E-mail： shintaro@hama-med.ac.jp
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------